

IAR Embedded Workbench®

ライセンス ガイド



LG_LMS2-2-J

IAR
SYSTEMS

著作権事項

© 2012 IAR Systems AB

IAR Systems AB が事前に書面で同意した場合を除き、このドキュメントを複製することはできません。このドキュメントに記載するソフトウェアは、正当な権限の範囲内でインストール、使用、およびコピーすることができます。

免責事項

このドキュメントの内容は、予告なく変更されることがあります。また、IAR Systems 社では、このドキュメントの内容に関して一切責任を負いません。記載内容には万全を期していますが、万一、誤りや不備がある場合でも IAR Systems 社はその責任を負いません。

IAR Systems 社、その従業員、その下請企業、またはこのドキュメントの作成者は、特殊な状況で、直接的、間接的、または結果的に発生した損害、損失、費用、課金、権利、請求、逸失利益、料金、またはその他の経費に対して一切責任を負いません。

商標

IAR Systems、IAR Embedded Workbench、C-SPY、visualSTATE、The Code to Success、IAR KickStart Kit、IAR、I-jet、および IAR システムズのロゴタイプは、IAR Systems AB が所有権を有する商標または登録商標です。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。

Adobe および Acrobat Reader は、Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

その他のすべての製品名は、その所有者の商標または登録商標です。

改版情報

第 2 版 : 2012 年 10 月

部品番号 : LG_LMS2-2-J

内部参照 : LS 2.1x, ISUD

目次

図	5
はじめに	7
本ガイドの対象者	7
このガイドの概要	7
その他の情報	8
表記規則	8
表記規則	8
命名規約	9
概要	11
IAR システムズのライセンス登録のしくみ	11
ライセンスのタイプ	12
IAR License Manager の概要	12
IAR License Manager の概略について	12
License Wizard の概略	13
ネットワーク ライセンス	13
異なるバージョンのライセンスサーバの使用	13
IAR ライセンス サーバパッケージ	13
IAR Embedded Workbench クライアント	14
コンピュータ承認を持つクライアント	14
システム要件	14
ライセンス サーバのネットワーク要件	15
ネットワーク ライセンスを使用した製品の インストール	17
ネットワーク ライセンスを使用した製品のインストール	17
IAR ライセンス サーバのインストール	18
ライセンスの有効化	23
クライアント コンピュータへの IAR Embedded Workbench の インストール	28

ライセンス管理	33
ライセンスの管理	33
ある製品の異なるライセンスの切り替え	33
コンピュータ承認の製品のチェックアウト	34
コンピュータ承認の最大数	34
オフライン時のライセンスの有効化	34
オフライン時に別のコンピュータにライセンスを移動する ...	39
手動によるネットワークライセンスの選択	40
ネットワーク ライセンスを使用する製品のアップデート	41
ネットワーク ライセンスへのユーザの追加	42
ネットワークライセンスの移動	43
手動によるライセンス サーバの起動および停止	43
ライセンスサーバのアクティビティのロギング	44
ロギングの有効化	45
ログファイルのサイズの指定	45
ログファイルのバックアップ	45
ログファイルのバックアップの無効化	45
ログファイルのフォーマット	46
IAR License Manager に関するリファレンス情報	47
リファレンス情報	47
IAR License Manager のメイン ウィンドウ	47
[License Details] (ライセンス詳細) ダイアログボックス	52
[Servers] (サーバ) ダイアログボックス	54
ライセンスの概念	57
索引	59



1: 製品のインストールとライセンスの有効化のプロセス	11
2: Windows の [スタート] メニューから IAR License Manager を 起動する	12
3: IAR ライセンス サーバのインストール	18
4: ライセンス契約の承認	19
5: インストール先の選択	19
6: [Start] (スタート) メニューでフォルダを選択	19
7: Sentinel RMS License Manager へようこそ	20
8: RMS ライセンス契約の承認	20
9: お客様情報の入力	21
10: インストール先フォルダの選択	21
11: 設定タイプの選択	22
12: ファイアウォールのブロック解除	22
13: インストールの準備完了	23
14: ライセンスの有効化	23
15: ライセンスの有効化	24
16: ライセンス番号の入力	24
17: ライセンスの登録	25
18: 製品の登録	25
19: サーバの確認	26
20: ドングルの確認	26
21: ライセンス詳細の確認	27
22: インストールしたライセンスの表示	27
23: IAR Embedded Workbench のインストール	28
24: ライセンス契約の承認	29
25: インストール タイプの選択	29
26: インストール ディレクトリの選択	30
27: プログラム フォルダの選択	30
28: インストールの準備完了	31
29: Offline Activation (オフラインアクティベーション)	34
30: Offline Activation (オフラインアクティベーション)	35

31: オフラインアクティベーション、ロック条件の選択	35
32: オフラインアクティベーション、ドングルの確認	36
33: オフラインアクティベーション、アクティベーション情報の保存	36
34: オフラインアクティベーション、アクティベーション情報の保存	37
35: オフラインアクティベーション、ライセンスアクティベーション	37
36: オフラインアクティベーション、ライセンス登録	38
37: オフラインアクティベーション、応答ファイルのダウンロード	38
38: オフラインアクティベーション、応答ファイルの選択	39
39: 手動によるネットワークライセンスの選択	40
40: サーバの追加	40
41: ライセンス サーバ サービスの追加または停止	44
42: IAR License Manager のメイン ウィンドウ	47
43: [Product List] (製品リスト) コンテキスト メニュー	51
44: ネットワーク ライセンスのコンテキスト メニュー	51
45: [License Details] (ライセンス詳細) ダイアログボックス	52
46: [Servers] (サーバ) ダイアログボックス	54

はじめに

ライセンスガイドへようこそ。本書には、ネットワーク ライセンスを使用した IAR Embedded Workbench 製品をインストールする方法と、ライセンスの管理方法に関する詳細な情報が記載されています。また、IAR License Manager についての詳細なリファレンス情報も入手できます。

本ガイドの対象者

本ガイドの対象者は以下のとおりです。

- ネットワーク ライセンスをインストールしようとしており、インストールとライセンスについてクイックリファレンスのブックレットよりも詳しい情報を必要としている。
- ネットワーク ライセンスを持っており、ライセンス サーバをインストールしようとしている。
- 既存のライセンスをアップグレードしようとしている。
- ライセンスを別のコンピュータに移転する必要がある。
- IAR License Manager を使用しようとしている。

このガイドの概要

本ガイドは以下の章で構成されます。

- *概要*は、インストールおよびライセンスの手順に関する一般的な概要と、さまざまなライセンスのタイプの違いについて、ネットワーク ライセンスに焦点を当てて説明します。
- *ネットワーク ライセンスを使用した製品のインストール*は、マルチユーザ環境においてライセンス サーバ ソフトウェアとクライアント ソフトウェアの両方をインストールする方法をステップごとに説明します。この章では、ライセンス サーバと IAR Embedded Workbench クライアントの両方をアップグレードする方法についても解説します。
- *ライセンス管理*では、ネットワーク ライセンスの一般的なタスクを実行する方法をステップごとに説明します。
- *IAR License Manager に関するリファレンス情報*では、ライセンスを管理するツールの IAR License Manager に関するリファレンス情報を提供します。

- **ライセンスの概念**は、一般的なライセンスに関する用語の一覧とその説明です。

その他の情報

インストールやライセンスに関して、本ガイドで質問の回答や問題の解決が得られなかった場合、以下の方法があります。

- リリースノートを読んで、本ガイドに記載されていない可能性のある最新情報があるか確認します。リリースノートは、インフォメーションセンタおよび製品インストール用メディアにあります。
- IAR システムズの Web サイト (www.iar.com/jp) にある技術サポートページのテクニカルノートを参照します。
- 技術サポートについては、IAR システムズのソフトウェア販売代理店にお問い合わせください。お問合せ先は、IAR システムズの Web サイト (www.iar.com/jp) にあります。

ライセンス番号、ご利用のライセンス ロックのタイプ、製品のお買い上げ先と購入日、問題の詳細をご用意ください。

表記規則

IAR システムズのドキュメントでプログラミング言語 C と記述されている場合、特に記述がない限り C++ も含まれます。

製品のインストールのディレクトリ (`cpuname%doc` など) に言及する場合、その場所へのフルパスを前提とします。たとえば、`c:%Program Files%IAR Systems%Embedded Workbench 6.n%cpuname%doc` ということになります。

表記規則

IAR システムズのドキュメントセットでは、次の表記規則を使用します：

スタイル	用途
<code>computer</code>	<ul style="list-style-type: none"> ● ソースコードの例、ファイルパス。 ● コマンドライン上のテキスト。 ● 2 進数、16 進数、8 進数。
<code>parameter</code>	パラメータとして使用される実際の値を表すプレースホルダ。たとえば、 <code>filename.h</code> の場合、 <code>filename</code> はファイルの名前を表します。
<code>[option]</code>	コマンドのオプション部分
<code>{a b c}</code>	代替の選択肢を持つコマンドのオプション部分

表 1: このガイドの表記規則





スタイル	用途
{a b c}	コマンドの必須部分に選択肢があることを示します。
太字	画面に表示されるメニュー名、メニューコマンド、ボタン、およびダイアログボックス
<i>斜体</i>	<ul style="list-style-type: none"> 本ガイドや他のガイドへのクロスリファレンスを示します。 強調。
...	3点リーダーは、その前の項目を任意の回数繰り返せることを示します。
	IAR Embedded Workbench® IDE 固有の内容を示します。
	コマンドライン インタフェース固有の内容を示します。
	開発やプログラミングについてのヒントを示します。
	ワーニングを示します。

表1: このガイドの表記規則 (続き)

命名規約

以下の命名規約は、このドキュメントに記述されている IAR システムズの製品およびツールで使用されています。

ブランド名	一般名称
CPUNAME 用 IAR Embedded Workbench®	IAR Embedded Workbench®
CPUNAME 用 IAR Embedded Workbench® IDE	IDE
CPUNAME 用 IAR C-SPY® デバッガ	C-SPY、デバッガ
IAR C-SPY® シミュレータ	シミュレータ
CPUNAME 用 IAR C/C++ コンパイラ	コンパイラ
CPUNAME 用 IAR アセンブラ	アセンブラ
IAR XLINK リンカ	XLINK、リンカ
IAR ILINK リンカ	ILINK、リンカ
IAR XAR ライブラリビルダ	ライブラリビルダ
IAR XLIB ライブラリアン	ライブラリアン
IAR DLIB ライブラリ	DLIB ライブラリ
IAR CLIB ライブラリ	CLIB ライブラリ

表2: このガイドで使用されている命名規約

概要

本章では、IAR システムズのライセンス システムの概要を説明します。インストールおよびライセンスを有効化する手順の概要と、さまざまなライセンスのタイプについて説明します。

IAR システムズのライセンス登録のしくみ

各 IAR Embedded Workbench® 製品にはソフトウェア ライセンスが付属しています。

IAR Embedded Workbench をインストールした後に初めて起動する際、ライセンス番号を入力してライセンスを登録することにより、ライセンスを有効化します。ライセンス ウィザードに従って、プロセスを進めます。

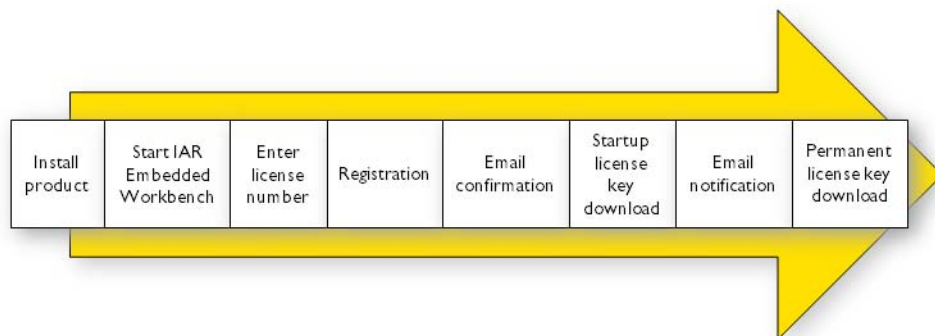


図1: 製品のインストールとライセンスの有効化のプロセス

製品パッケージに同梱されたご案内状にライセンス番号が記載されています。自動的に有効化すると、スタートアップライセンスが取得できます。これはインストール直後から製品の使用を開始でき、30日間有効です。

購入が完了すれば、永久ライセンスを有効化できるようになります。購入した製品に応じて、3か月間は無料でアップデートおよび優先技術サポートを受けられます。

IAR Embedded Workbench とともにライセンス マネージャがインストールされ、ライセンスを容易に管理できます。IAR License Manager の使用方法について詳しくは、33 ページのライセンス管理を参照してください。

ライセンスのタイプ

以下の3種類の永久ライセンスがあります。

- モバイルライセンスは、 dongle (ハードウェア ロック) にロックされたシングルユーザ ライセンスです。
- PC 固定ライセンスは、ソフトウェアがインストールされているコンピュータに固定された、シングルユーザ ライセンスです。
- ネットワーク ライセンスは、複数ユーザ向けです。

本ガイドでは、ネットワーク ライセンスとその管理方法を説明します。モバイル ライセンスと PC 固定ライセンスのタイプについては、製品パッケージに付属のクイックレファレンスのブックレットを参照してください。

IAR License Manager の概要

ここでは、IAR License Manager の概要を説明します。

IAR LICENSE MANAGER の概略について

IAR License Manager は、IAR Embedded Workbench や IAR ライセンス サーバをインストールすると自動的にインストールされるプログラムで、これを使用してライセンスを管理できます。

IAR License Manager は、特定のインストール用ディレクトリに対してローカルであり、このバージョンのライセンス取得システムを使用する同じディレクトリにインストールされているすべての IAR 製品を検出します。

Windows の [スタート] メニューまたは IAR Embedded Workbench IDE の [Help] (ヘルプ) メニューから、IAR License Manager を起動します。

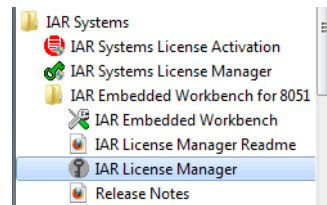


図2: Windows の [スタート] メニューから IAR License Manager を起動する

注: 旧バージョンの IAR License Manager とは異なり、IAR License Manager の [Start] (スタート) メニューは、IAR Embedded Workbench と同じフォルダにあります。

LICENSE WIZARD の概略

License Wizard は、ライセンスの有効化プロセスをステップごとに案内します。有効なライセンスを持たない製品がインストールされている場合、IAR Embedded Workbench IDE を起動するとこれが自動的に起動します。IAR License Manager の [License] (ライセンス) メニューからも起動できます。

ネットワーク ライセンス

ネットワーク ライセンスは、ライセンス サーバコンピュータ上にあるマルチユーザライセンスです。ライセンス サーバコンピュータとは、IAR ライセンス サーバがインストールされた PC のことです。IAR Embedded Workbench の個々のインストールは、同じネットワーク内の他のコンピュータ (クライアント) にインストールされます。

ネットワーク ライセンスによって、ネットワーク上のどのクライアントコンピュータからも IAR Embedded Workbench が使用可能になります。ネットワーク ライセンスでは最大同時使用ユーザ数内での使用が可能で、ライセンスサーバで現在の同時使用ユーザ数が監視されます。

ネットワーク ライセンスは、ライセンス サーバがインストールされるコンピュータにロックされます。これはコンピュータ自体か、装着されたドングルです。ドングルの場合、ライセンス サーバを異なるサーバコンピュータに簡単に転送できます。

ライセンス サーバは汎用であり、インストールするすべての IAR Embedded Workbench 製品で使用できます。

異なるバージョンのライセンスサーバの使用

使用されているバージョンの IAR Embedded Workbench には、IAR ライセンスサーバのバージョン 2.x が必要です。IAR システムズの一部の製品では、ライセンスサーバのバージョン 1.4x またはそれ以前のバージョンが必要な場合があります。仮想マシンを使用しない限り、新しいサーバと旧バージョンのサーバは、同じコンピュータ上で共存できません。

IAR ライセンス サーバ パッケージ

ネットワーク ライセンスを注文すると、以下を受け取ります。

- IAR ライセンス サーバが入ったインストール用メディア 1 枚
- 1 ドングル
- IAR Embedded Workbench 製品の入ったインストール用メディア 1 枚

ライセンス サーバは次の 2 つのコンポーネントからなります：

- ライセンスの管理に使用する IAR License Manager。また、IAR License Manager は、クライアント コンピュータ上でのライセンスを管理するために、IAR Embedded Workbench とともにインストールされます。
- Sentinel RMS License Manager が実際のライセンス サーバです。

ライセンス サーバは、ライセンス サーバに使用するコンピュータ上にインストールします。

IAR EMBEDDED WORKBENCH クライアント

IAR Embedded Workbench クライアントは、必要な数のクライアント コンピュータ上にインストールできます。

ネットワーク ライセンスを使用して、コンパイルやリンクなどライセンスが必要なアクティビティを実行するたびに、IAR Embedded Workbench はライセンス サーバから実行する権限を要求します。

アクティビティが完了すると、ネットワーク ライセンスの使用許可は 30 分間そのクライアントにロックされたままになり、その後は別のクライアントに解放されます。IAR License Manager では、ライセンスの状態を参照できます。

コンピュータ承認を持つクライアント

ネットワーク ライセンスには、ライセンス サーバに接続せずに日数限定で IAR Embedded Workbench を使用できる、コンピュータ機能があります。詳細については、34 ページの *コンピュータ承認の製品のチェックアウト* を参照してください。

システム要件

システム要件については、以下を参照してください。

- クライアント コンピュータについては、IAR Embedded Workbench のインストール用メディアにある *リソースノート* を参照してください。
- IAR ライセンス サーバ コンピュータ (ネットワーク ライセンスのみ) の場合は、IAR ライセンス サーバのインストール用 CD の *リソースノート* を参照してください。

注： 製品をインストールして有効化するには、コンピュータの管理者権限を持ち、インターネットに接続している必要があります。IAR License Manager がインターネットに接続できない場合は、「34 ページの *オフライン時のライセンスの有効化*」を参照してください。

ライセンス サーバのネットワーク要件

ネットワークライセンスを持っている場合、それぞれのクライアントのインストールでサブネット上のライセンスサーバが自動的に検索されます。

クライアントとサーバの通信は、IP ネットワーク上のポート 5093 で UDP プロトコルにより行われます。

ライセンス サーバ コンピュータ上に Windows Firewall などのファイアウォールかネットワークブリッジがインストールされている場合、UDP パケットがサーバポート 5093 を経由するように設定されている必要があります。

ブロードキャスト機能が使用できないか、ライセンス サーバが異なるサブネット上にあるネットワーク構成では、クライアントから手動でサーバを指定する必要があります。これについて詳しくは、54 ページの *[Servers]* (サーバ) ダイアログボックスを参照してください。

また、ポート 5093 の UDP ブロードキャストパケットは、IAR Embedded Workbench の起動時に必ず使用され、IAR License Manager が実行している限り、定期的にそうなります。ネットワーク上の使用可能なライセンスサーバを検索するために、ブロードキャストが行われます。コンパイルしているときなど、ライセンスされた製品の使用中は、ブロードキャストは行われません。

IAR License Manager は、通信プロトコル https を使用して IAR システムズからライセンスキーを取得します。インターネットのプロキシについては、Windows の設定が使用されます。

ネットワーク ライセンス を使用した製品のインス トール

本章では、システム管理者またはネットワーク管理者向けに、指定したサーバへの IAR ライセンス サーバのインストールおよびクライアント コンピュータへの IAR Embedded Workbench® のインストール方法について説明します。

ネットワーク ライセンスの詳細については 13 ページのネットワーク ライセンスを参照してください。

ネットワーク ライセンスを使用した製品のインストール

ネットワーク ライセンス付き製品のインストール方法には、次の 3 段階の手順をお勧めします。

- 1 IAR ライセンス サーバをサーバ コンピュータにインストールします。
- 2 サーバ上の IAR License Manager を使用して、ライセンスを有効化して登録します。
- 3 ネットワーク ライセンスを使用して IAR Embedded Workbench をクライアント コンピュータ上にインストールし、起動します。

注：IAR システムズの製品をインストールするには、システムに対して管理者権限が必要です。

重要：すでにインストールされた IAR ライセンス サーバにネットワーク ライセンスを追加する場合は、「23 ページのライセンスの有効化」の手順を参照してください。下記のインストール手順は無視してください。

IAR ライセンス サーバのインストール

注： ドングルを使用する場合を除いて、最初からライセンス サーバにどのコンピュータを使用するか決めておくことが重要です。これはライセンス サーバがそのコンピュータにロックされるためです。

- 1 ライセンス サーバ ソフトウェアに適したサーバ コンピュータを選択します。システム要件については、ライセンス サーバのインストール用メディアのリリースノートをご覧ください。
- 2 ドングルをすべて外します。
- 3 IAR ライセンス サーバのインストール用メディアを挿入します。インストールプログラムが自動的に起動します。起動しない場合、インストール用メディアから autorun.exe プログラムを実行します。
- 4 **[Install the IAR License Server]** (**IAR ライセンス サーバのインストール**) をクリックします。これによって、最初に IAR License Manager がインストールされ、すぐ後に続いて Sentinel RMS License Manager がインストールされます。



図3: IAR ライセンス サーバのインストール

- 5 **[Next]** (**次へ**) をクリックして、ライセンス契約を読んで理解したことを確認します。



図4: ライセンス契約の承認

6 IAR License Manager をインストールする先のフォルダを選択します。

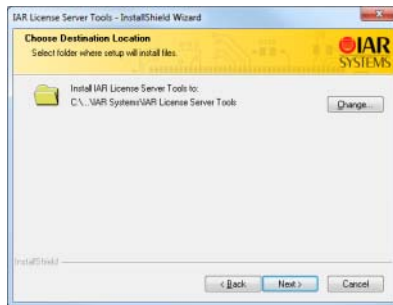


図5: インストール先の選択

7 [Start] (スタート) メニューでプログラム アイコンのフォルダを選択します。

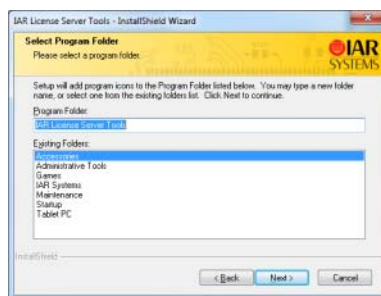


図6: [Start] (スタート) メニューでフォルダを選択

- IAR License Manager がインストールされたら、Sentinel RMS License Manager のインストールが開始されます。



図7: Sentinel RMS License Manager へようこそ

- [Next] (次へ) をクリックして、RMS ライセンス契約を読んで理解したことを確認します。



図8: RMS ライセンス契約の承認

10 お客様の情報を入力します。

図9: お客様情報の入力

- 11**
- ライセンス サーバをインストールする先のフォルダを選択します。デフォルトのディレクトリはC:\Program Files\Common Files\SafeNet\Sentinel\Sentinel RMS License Manager です。



図10: インストール先フォルダの選択

- 12 [Setup Type] (設定タイプ) ページで、[Complete] (コンプリート) または [Custom] (カスタム) を選択します (デフォルトでは、これによってドングルドライバはインストールされません)。



図 11: 設定タイプの選択

- 13 次のページで、ポート 5093 の UDP トラフィックをブロック解除する必要があります。これは、クライアント コンピュータがサーバにアクセスするために必要です。



図 12: ファイアウォールのブロック解除

- 14 [Install] (インストール) をクリックして、Sentinel RMS License Manager をインストールします。



図 13: インストールの準備完了

通常は、ライセンス サーバを手動で起動する必要はありません。インストール後に自動的に起動して、コンピュータを再起動するたびに再起動します。何らかの理由でライセンス サーバを手動で起動しなければならない場合は、43 ページの**手動によるライセンス サーバの起動および停止**を参照してください。

ライセンスの有効化

ネットワーク ライセンスを使用する前に、有効化する必要があります。

- I ライセンス サーバ コンピュータ上で、Windows の [スタート] メニューから [IAR License Manager] (IAR ライセンス マネージャ) を起動します。

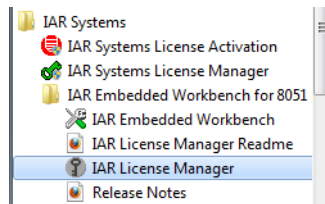


図 14: ライセンスの有効化

- 2 **[License]** (ライセンス) > **[Activate License]** (ライセンスの有効化) を選択します。

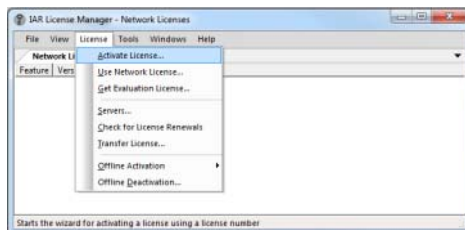


図 15: ライセンスの有効化

または、IAR License Manager がインターネットに接続できない場合、**[License]** (ライセンス) メニューから **[Offline Activation]** (オフラインアクティベーション) を選択して、ライセンス番号を入力すればライセンスを更新できます。

- 3 ドングルを持っている場合は、コンピュータに取り付けてください。
- 4 ライセンス番号を入力して、**[Next]** (次へ) をクリックします。ライセンス番号は CD/DVD ケースに記載されています。

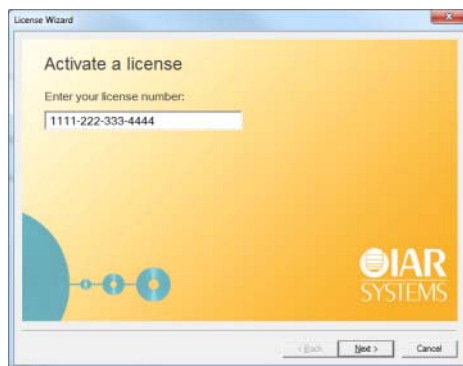


図 16: ライセンス番号の入力

- 5 次のステップで **[Register]** (登録) をクリックします。



図 17: ライセンスの登録

- 6 License Wizard が IAR システムズの登録 Web ページを開き、そこでライセンスを登録します。

図 18: 製品の登録

登録フォームの入力が完了したら、指定したアドレスに電子メールが送信されます。電子メールが届いたらそれを開き、メールにあるリンクをクリックして登録を確認します。これで登録の手続きが完了しました。

License Wizard で **[Next]** (次へ) をクリックし、ライセンスアクティベーションに進みます。

- 7 [Next] (次へ) をクリックして、使用するコンピュータ上でライセンスを有効化することを確認します。



図 19: サーバの確認

- 8 ネットワークライセンスで dongle を使用している場合、ライセンスを dongle にロックする必要があります。(ライセンスで dongle を使用しない場合は、この手順は省略してください)。dongle をコンピュータに取り付けて、他の dongle が取り付けられていないことを確認します。



図 20: Dongle の確認

または、まだ dongle を受け取っていない場合、ライセンスを一時的にコンピュータにロックすることができます。対応するチェックボックスを選択します。

注: 製品パッケージに付属のものではない別の dongle にライセンスをロックすることは可能です。たとえば、同じ dongle にいくつかの製品をロック

する場合などです。その場合、結果を慎重に考えてください。一度 dongle を確認すると、ロックを元に戻すことはできません。

- 9 License Wizard がライセンスの詳細を確認します。[Next] (次へ) をクリックしてアクティベーションを完了します。



図 21: ライセンス詳細の確認

注: 永久ライセンスに、購入したライセンスには含まれない機能の期間限定評価版が含まれていることがあります。

- 10 IAR License Manager で、[View] (表示) > [Network Licenses] (ネットワークライセンス) を選択して、インストールしたライセンスを表示します。

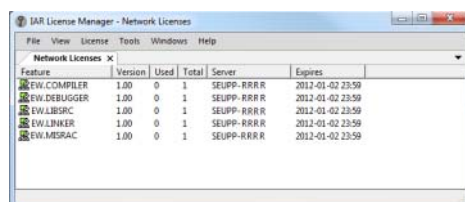


図 22: インストールしたライセンスの表示

- 11 IAR License Manager を閉じて構いません。サーバがバックグラウンドで実行され、いつでもマネージャを再び起動してライセンスの閲覧や管理ができます。

- 12 永久ライセンスが使用可能になると、電子メールで通知が届きます。

永久ライセンスを取得するには、ライセンスサーバコンピュータ上で次の手順を実行してください。

- 1 Windows の [スタート] メニューから [IAR License Manager] (IAR ライセンスマネージャ) を起動します。

- 2 **[License]** (ライセンス) メニューで、**[Check for License Renewal]** (ライセンス更新のチェック) を選択して指示に従います。

または、IAR License Manager がインターネットに接続できない場合、**[License]** (ライセンス) メニューから **[Offline Activation]** (オフラインアクティベーション) を選択して、ライセンス番号を入力すればライセンスを更新できます。

クライアント コンピュータへの IAR EMBEDDED WORKBENCH のインストール

各クライアント コンピュータで以下の手順を繰り返してください。

新バージョンの製品 (評価用バージョン) がすでにインストールされている場合、ステップ 8 に進んでください。

- 1 IAR Embedded Workbench のインストール用メディアを挿入します。インストールプログラムが自動的に起動します。起動しない場合、インストール用メディアから autorun.exe プログラムを実行します。
- 2 **[Install IAR Embedded Workbench]** (IAR Embedded Workbench のインストール) を選択します。

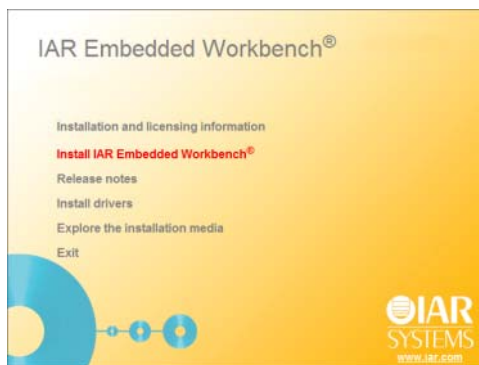


図 23: IAR Embedded Workbench のインストール

- 3 プロンプトに従ってライセンス契約を読み、同意してください。

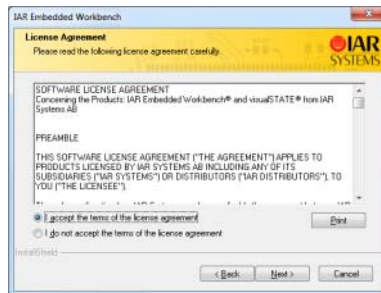


図 24: ライセンス契約の承認

- 4 プロンプトが表示されたら、**[Complete]** (コンプリート) または **[Custom]** (カスタム) を選択します。

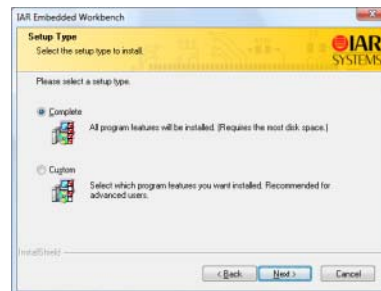


図 25: インストールタイプの選択

[Custom] (カスタム) を選択した場合、次のダイアログボックスでインストールするコンポーネントを選択します。

このステップは必ず該当するわけではありません。

- 5 デフォルトインストールディレクトリを使用するか、希望するディレクトリを指定します。

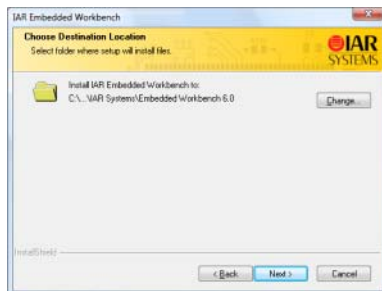


図 26: インストールディレクトリの選択

- 6 Windows の [スタート] メニューで、IAR Embedded Workbench のスタートアイコンを配置するフォルダを選択します。

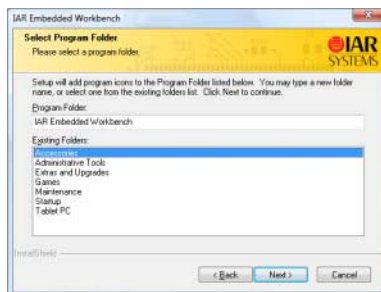


図 27: プログラム フォルダの選択

- 7 インストール用設定を見直して **[Install]** (インストール) をクリックし、プログラム ファイルをインストールします。

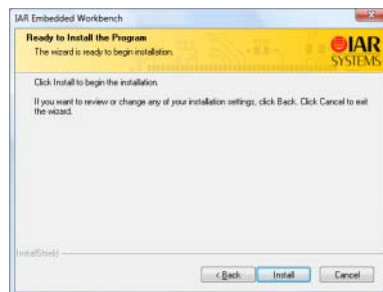


図 28: インストールの準備完了

これで IAR Embedded Workbench のインストールが終了します。

IAR Embedded Workbench を実行可能にする各クライアント コンピュータ上で、上記の手順を繰り返してください。

- 8 クライアント コンピュータ上で最初に IAR Embedded Workbench を起動する際、ライセンス サーバが検出されて、それを使用するよう推奨されます。クライアントが自動的にライセンス サーバを検出しなかった場合、手動で指定できます (54 ページの **[Servers]** (サーバ) ダイアログボックスを参照)。
- 9 これで IAR Embedded Workbench を使用できるようになりました。

注: コードサイズ制限版からアップグレードする場合、新しいバージョンを使用して初めてプロジェクトをビルドするときに **[Rebuild All]** (すべてを再ビルド) コマンドを必ず実行してください。

ライセンス管理

本章では、ライセンス管理に関連する一部のタスクの実行方法を説明します。

ライセンスの管理

ここでは、実行しなければならない可能性がある一部のタスクについて説明します。一部のタスクについては、ステップごとの説明もあります。

具体的には、以下の項目について説明します。

- ある製品の異なるライセンスの切り替え
- コミュータ承認の製品のチェックアウト
- コミュータ承認の最大数
- オフライン時のライセンスの有効化
- オフライン時に別のコンピュータにライセンスを移動する
- 手動によるネットワークライセンスの選択
- ネットワークライセンスを使用する製品のアップデート
- ネットワークライセンスへのユーザの追加
- ネットワークライセンスの移動
- 手動によるライセンス サーバの起動および停止

別のコンピュータへのライセンスの移動については、[クイックレファレンスのブックレット](#)も参照してください。

ある製品の異なるライセンスの切り替え

コンピュータにインストールされた同じ製品で複数のライセンスを使用することができます。最後に有効化されたライセンスが使用されます。旧バージョンのライセンスや別の類似製品、あるいはネットワークライセンスに切り替えるには、次の手順に従ってください。

- 1 IAR License Manager で、**[View] (表示) > [Product List] (製品リスト)** を選択して製品をダブルクリックし、**[License Details] (ライセンスの詳細)** を表示します。
- 2 **[Selected license] (選択したライセンス)** ドロップダウンリストから、使用するライセンスを選択します。

コンピュータ承認の製品のチェックアウト

ネットワークサーバからライセンスをチェックアウトするには、次の手順に従います。

- 1 IAR License Manager を起動します。
- 2 製品を右クリックして、**[Check Out]** (チェックアウト) を選択します。
- 3 表示される **[Check Out]** (チェックアウト) ダイアログボックスで、コンピュータ承認により製品をチェックアウトする日数 (最高 15 日) を指定します。

これでライセンスサーバに接続されていなくても製品が使用できるようになりました。

- 4 コンピュータ承認の期限が切れる前に自動的に終了するには、製品を右クリックして **[Check In]** (チェックイン) を選択します。

指定した日数が経過すると、ライセンスは自動的に返却されます。

コンピュータ承認の最大数

たとえば、コンピュータ承認の最大数をライセンス総数の 25% に設定するには、LSERVOPT 環境変数とライセンスサーバコンピュータの -com オプションを使用してください。

```
LSERVOPTS=-com 25
```

オフライン時のライセンスの有効化

IAR License Manager がインターネットに接続できない場合にライセンスを有効化するには、次の手順に従います。

- 1 IAR License Manager で、**[License (ライセンス)]** > **[Offline Activation]** (オフラインアクティベーション) を選択します。

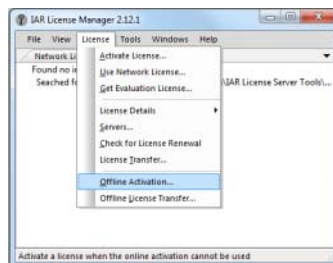


図 29: Offline Activation (オフラインアクティベーション)

- 2 ウィザードが表示されたら、ライセンス番号を入力してアクティベーション情報ファイルを生成して **[Next] (次へ)** をクリックします。

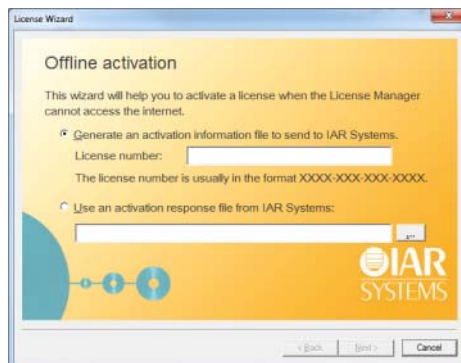


図 30: Offline Activation (オフラインアクティベーション)

- 3 次のページで、ライセンスをコンピュータかドングルのどちらにロックするかを指定します。ライセンスをドングルにロックする必要があってまだドングルを受け取っていない場合、**[Yes, but I have not received the dongle yet]** (はい。でもまだドングルを受け取っていません) を選択します。こうすれば、ドングルを待つ間にライセンスを一時的にコンピュータにロックすることができます。



図 31: オフラインアクティベーション、ロック条件の選択

- 4 ライセンスを dongle に直接ロックする場合 ([Yes] (はい) を選択)、dongle を取り付けてから先に進むように指示があります。



図 32: オフラインアクティベーション、dongle の確認

- 5 次に、アクティベーション情報ファイルの保存先を指定します。

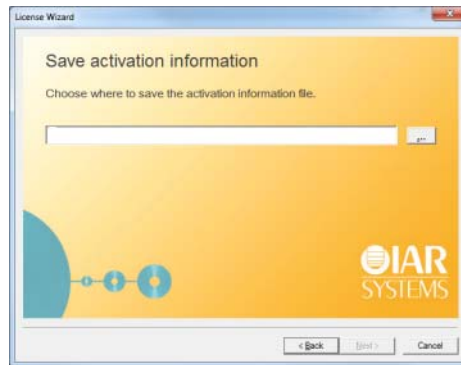


図 33: オフラインアクティベーション、アクティベーション情報の保存

- 6 次に、ウィザードに URL (<https://register.iar.com/activate>) が表示されます。

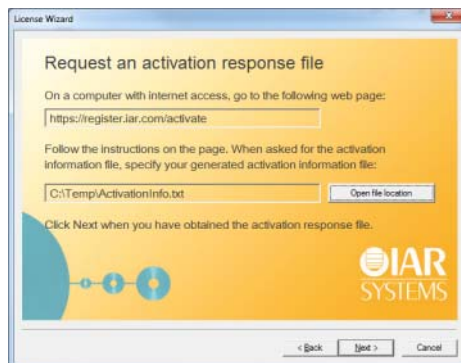


図 34: オフラインアクティベーション、アクティベーション情報の保存

- 7 インターネットに接続されているコンピュータで、その Web サイトを開きます。そのページから生成されたアクティベーションファイルをアップロードできます。



図 35: オフラインアクティベーション、ライセンスアクティベーション

- 8 ライセンスが未登録であれば、先に登録を済ませるように指示があります。



図36: オフラインアクティベーション、ライセンス登録

- 9 アクティベーションプロセスの最後に、アクティベーション応答ファイルをダウンロードすることができます。



図37: オフラインアクティベーション、応答ファイルのダウンロード

ライセンスを使用するコンピュータにそのファイルを移動します。

- 10 ライセンスを使用するコンピュータ上で、ウィザードから **[Next]** (次へ) をクリックします。アクティベーション応答ファイルを探して、**[Next]** (次へ) をもう一度クリックします。



図 38: オフラインアクティベーション、応答ファイルの選択

これでライセンスが有効化されました。

- 11 ドングルをコンピュータに一時的にロックして、それからドングルを受け取った場合、オフラインアクティベーションの手続きを繰り返しますが、ライセンスをドングルにロックするようにしてください。
- 12 ライセンスが IAR システムズから承認されたら、オフラインアクティベーションをもう一度繰り返せば永久ライセンスが有効になります。

オフライン時に別のコンピュータにライセンスを移動する

移動には、ライセンスの無効化と有効化を行います。この手続きはモバイルライセンスには該当しない点に注意してください。ライセンスの移動については、*クリックリファレンスのブックレット*を参照してください。

- 1 インターネットに接続されたコンピュータで、<https://register.iar.com/deactivate> にアクセスします。
- 2 無効化するライセンス番号を入力します。
- 3 応答として、*無効化ファイル*をダウンロードして入手します。このファイルをコンピュータに移動します。
- 4 IAR License Manager で、**[License]** (ライセンス) > **[Offline License Transfer]** (オフラインのライセンス移動) を選択します。
- 5 表示されるダイアログボックスで、権限のファイルを探して **[OK]** をクリックします。*無効化の確認ファイル*が作成されます。

- 6 そのファイルをインターネット接続されたコンピュータに移動して、Web ページに戻ります。
- 7 無効化チケットをアップロードすると、ライセンスが別のコンピュータで有効できるようになります。

手動によるネットワークライセンスの選択

- 1 IAR License Manager から、[Licence] (ライセンス) > [Use Network License] (ネットワークライセンスを使用) を選択してウィザードを開きます。
- 2 使用するサーバをリストから選択して、[Next] (次へ) をクリックします。



図39: 手動によるネットワークライセンスの選択

- 3 または、サーバがリストにない場合、[Add a server] (サーバを追加) をクリックします。表示されるダイアログボックスで、[Add] (追加) をクリックしてサーバ名または IP 番号を入力します。

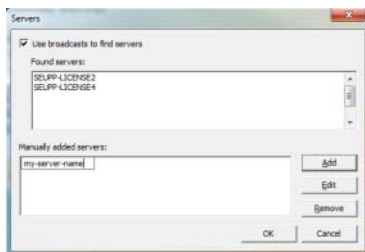


図40: サーバの追加

注: 間違ったサーバ名を入力すると、IAR License Manager の動作が遅くなる場合があります。

[OK] をクリックして、ウィザードに戻ります。

- 4 ウィザードで正しいサーバを選択して、[Next] (次へ) をクリックします。

ネットワーク ライセンスを使用する製品のアップデート

ネットワーク ライセンスを使用する製品をアップデートするには、次の3段階からなる手順に従います：

- 41 ページの IAR ライセンス サーバのアップデート。このステップは、アップデート済みの IAR Embedded Workbench のほかに、IAR ライセンス サーバのアップデートを受け取った場合にのみ該当します。
- 41 ページのネットワーク ライセンスの更新
- 42 ページの IAR Embedded Workbench のアップデート

製品のアップデートは、旧バージョンの製品がインストールされている同じコンピュータで実行されます。アップデートをインストールした後、同じライセンス タイプとライセンス ロックを使用します。

IAR ライセンス サーバのアップデート

ライセンス サーバのアップデートを受け取った場合、最新のライセンス サーバがインストールされているコンピュータ上で次の手順を実行してください。

注： インストールの手順によりライセンス サーバをシャットダウンし、すべてのネットワーク ライセンスが一時的に利用できなくなります。

セットアッププログラムによって、ライセンス サーバの旧バージョンがアンインストールされます。

「18 ページの IAR ライセンス サーバのインストール」 の手順に従います。

これで IAR ライセンス サーバのアップデートが終了します。

ネットワーク ライセンスの更新

製品のアップデートを受け取ると、ライセンスを更新する必要があります。

注： ライセンスの更新中は、ネットワークライセンスでコンピュータ承認をチェックアウトすることはできません。

- 1 ライセンス サーバコンピュータで IAR License Manager を起動します。
- 2 [License] (ライセンス) > [Check for License Renewals] (ライセンスの更新チェック) を選択します。少し時間がかかることがあります。
- 3 使用可能な新しいライセンスがある場合、ライセンスを更新するかどうか確認を求められます。

- 4 クライアント コンピュータで IAR Embedded Workbench を再起動するか、IAR License Manager を起動して更新されたライセンスを検出する必要があります。これで更新が完了し、更新されたライセンスが使用可能になります。

IAR Embedded Workbench のアップデート

アップデートした IAR Embedded Workbench をクライアント コンピュータ上にインストールする前に、既存の製品インストールをアップデートして完全に置換するか、既存のインストールを保持したままアップデートを別のディレクトリにインストールするかを決定します。

両方のバージョンを同時に使用する場合、新しいバージョンを別のディレクトリにインストールしてください。

既存のインストールを置換する場合は、以下のようになります。



- リンカ設定ファイル、ライブラリ、既存のインストールにおいて変更したその他の製品ファイルのバックアップとしてコピーを作成します。こうしなければ、これらのファイルは上書きされます。独自のファイルはそのまま残ります。
- 現在のバージョンの製品をアンインストールします。
- ランタイム ライブラリのソースコードをアンインストールします（このステップは、そのようなソースコードが以前にインストールされている場合のみ該当します）。

以前のバージョンの IAR Embedded Workbench がインストールされているクライアント コンピュータごとに、28 ページのクライアント コンピュータへの IAR Embedded Workbench のインストールの手順に従ってアップデートを実行します。

これで IAR Embedded Workbench のアップデートが終了します。

ネットワーク ライセンスへのユーザの追加

ネットワーク ライセンスで許可されている同時使用ユーザ数が十分でない場合、ライセンスにユーザをさらに追加できます。これを行うには、ソフトウェア販売代理店か IAR システムズに連絡して、拡張版のネットワーク ライセンスを注文する必要があります。

購入が完了すると、電子メールによる通知が届きます。新しく購入した内容でライセンスを有効化するには、次のステップのいずれかを実行します：

- ネットワーク ライセンスの更新 — コンピュータ上で有効化されたすべてのライセンスについて更新をチェックします。たくさんのライセンスがインストールされている場合、時間が多少かかることがあります（ライセン

ス番号ひとつにつき約1分)。この場合、代わりに2番目の手順を実行した方が良いこともあります。

- ライセンスの有効化 – 特定のライセンスを更新。最初のライセンスが有効化されたときと同じライセンス番号を指定する必要があります。この方法の利点のひとつは、1つのライセンス番号だけがチェックされることです。また、このオプションは、たとえばロック条件の変更などのために更新が失敗した場合にも使用できます。

ネットワークライセンスの移動

ネットワークライセンスは、ライセンスがドングルにロックされている場合にのみ、別のサーバコンピュータに移動できます。サーバコンピュータにロックされているネットワークライセンスを移動しなければならない場合は、IAR システムズまでご連絡ください。

たとえばサーバに不具合が生じた場合など、ネットワークライセンスを新しいライセンスサーバコンピュータに移動するには、以下のようにします。

- 1 「18 ページの IAR ライセンス サーバのインストール」の説明に従って、IAR ライセンスサーバを新しいコンピュータにインストールします。ライセンスの有効化や製品登録は必要はありません。
- 2 新しいライセンスサーバコンピュータにドングルを取り付けます。
- 3 ライセンス番号を使用し、IAR License Manager を起動して製品を有効化します (23 ページのライセンスの有効化を参照)。複数の製品がある場合、このステップをそれぞれのライセンス番号に対して繰り返す必要があります。
- 4 クライアントコンピュータで、IAR License Manager を起動してライセンスプロバイダとなる新しいライセンスサーバを選択します：
 - [License] (ライセンス) > [Use Network License] (ネットワークライセンスを使用) を選択します。
 - 製品を選択して、[Next] (次へ) をクリックします。
 - 新しいライセンスサーバを選択して、[Next] (次へ) をクリックします。

これで、ライセンスサーバを新しいコンピュータに移動できました。

手動によるライセンスサーバの起動および停止

通常は、ライセンスサーバを手動で起動したり停止する必要はありません。コンピュータを起動すると、ライセンスサーバが自動的に起動されます。しかし何らかの理由で、手動により起動しなければならないこともあり得ます。

ライセンスサーバは Windows サービスとして実行します。実行中かどうかを確認するには、Windows のサービスリストをチェックできます。このリスト

を表示する方法は、使用する Windows のバージョンによって異なります。このサービスは、*Sentinel RMS License Manager* といいます。

このサービスの実行可能ファイルは、IAR ライセンス サーバ ツールのインストール中に *Sentinel RMS License Manager* をインストールした場所にあります。デフォルトのディレクトリは Windows のバージョンと言語により異なりますが、通常は次のようになります：`C:\Program Files\Common Files\SafeNet\Sentinel\Sentinel RMS License Manager`

このディレクトリに、サーバファイルがある WinNT というサブディレクトリがあります。サーバ実行可能ファイルの名前は、`Lservnt.exe` です。これを起動して停止するには、`loadls.exe` を実行します（管理者権限が必要です）。

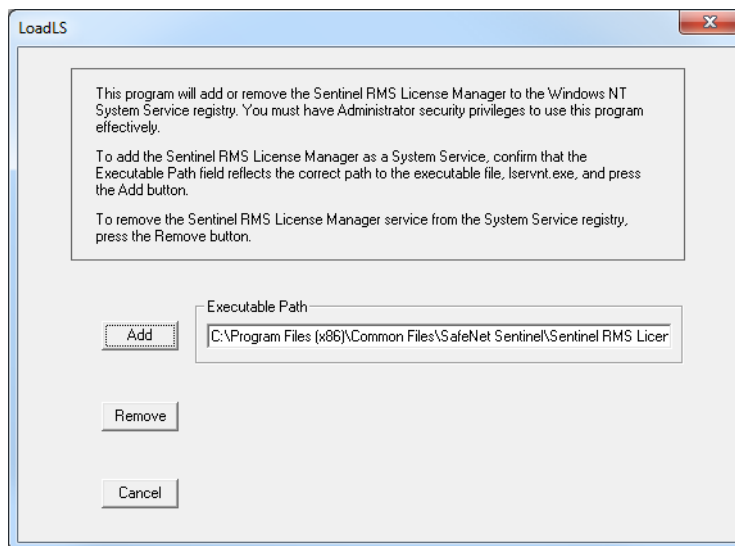


図 41: ライセンス サーバ サービスの追加または停止

サービスを起動または停止するには、**[Add]**（追加）または **[Remove]**（削除）をクリックします。サービスがすでに実行中に間違って **[Add]**（追加）をクリックしたり、サービスが実行中でないときに **[Remove]**（削除）をクリックした場合、エラーメッセージが表示されます。

ライセンスサーバのアクティビティのロギング

ライセンスサーバのアクティビティのロギングを有効化できます。これは通常、どのユーザがどのライセンスをどれだけ使用しているかを監視するときに便利です。

ロギングの有効化

ロギングを有効化するには、ライセンスサーバコンピュータ上で次の環境変数を設定します。LSERVOPTS=-1 path_to_log_file

次に例を示します。LSERVOPTS=-1 C:¥ServerLog¥logfile.txt

変更を有効にするには、ライセンスサーバを再起動する必要があります。

注：この環境変数がグローバルで設定されていると（Windows のシステムプロパティなどで）、他の製品も影響を受けることがあります。

ログファイルのサイズの指定

ログファイルの最大サイズを指定するには、-z オプションを使用します。サイズをバイトで指定するには、-z 2000（2000 バイト）、キロバイトで指定するには -z 2k（2 キロバイト）、メガバイトなら -z 2m（2 メガバイト）というようにします。

次に例を示します。LSERVOPTS=-z 2m -1 C:¥ServerLog¥serverlog.txt

ログファイルのバックアップ

ファイルのサイズが -z オプションで指定した最大値に達すると、ライセンスサーバは元のログファイルをバックアップファイルにコピー（名前の変更）します。これは同じファイル名ですが、2 桁の数字がファイル名に追加されています。元の名前を持ったファイルでロギングが続けられます。

次の例を考えてみます。

管理者がログファイルの最大サイズを 2 MB と指定しました。サイズが 2 MB に達すると、ライセンスサーバはログファイルの末尾にサフィックスを追加します。次に例を示します。serverlog.txt.00、serverlog.txt.01、serverlog.txt.02 ~ serverlog.txt.99。この上限に達すると、ライセンスサーバは同じログファイル名を使用して 00 からバックアップファイルを生成し始めます。つまり、元のログファイルは上書きされます。さらに多くのログファイルが必要な場合、最初の 100 のログファイルを別の場所（内容を保存）にバックアップするよう自分でスクリプトを作成する必要があります。こうすれば、最初のログファイルが上書きされても問題ではなくなります。

ログファイルのバックアップの無効化

ログファイルの自動バックアップを無効化するには、ライセンスサーバコンピュータで LSERVOPTS 環境変数に -x オプションを追加します。

ログファイルのフォーマット

ログ情報は、次のフォーマットで各行に 1 エントリずつログファイルに記録されます。

エレメント	説明
Server-LFE	ライセンスサーバの <code>-lfe</code> オプションで指定されるユーザ定義のログファイル暗号化レベル。
License-LFE	ベンダ定義のログファイル暗号化レベル。これがゼロの場合、このエレメントによって Server-LFE がオーバーライドされます。
Date	エントリが作成された日付。フォーマットは次のようになります: 曜日 月日 時間 (hh:mm:ss) 年 (例: Wed Oct 10 08:40:46 2012)。
Time-stamp	エントリのタイムスタンプ。
Feature	機能名。
Ver	機能のバージョン。
Trans	トランザクションタイプ 0 は問題、1 は却下、2 はリリースをそれぞれ示します。
Numkeys	現在のリクエスト / リリースの後で使用されているライセンス数。(暗号化レベルが 3 または 4 に設定されている場合、暗号化されます)。
Keylife	ライセンスの使用時間 (秒)。ライセンスがリリースされた後のみ適用されます。
User	エントリに関連するアプリケーションのユーザ名。
Host	エントリに関連するアプリケーションのホスト名。
LSver	Sentinel RMS 開発キットのライセンスサーバのバージョン。
Currency	トランザクション中に処理されたライセンス数。(暗号化レベルが 3 または 4 に設定されている場合、暗号化されます)。
Comment	ライセンスアプリケーションによって渡されるテキスト。

表 3: ログファイルのエレメント

一般的なエントリは次のようになります。

```
# Startup Sentinel RMS Development Kit v7.00 Fri Aug 13 17:33:31
1999 934590811 jsmith 140 4294489039

2 0 MTI1 Fri Aug 13 17:33:33 1999 934590813 99 v 0 1 0 jsmith
jsmith 7.00 1 - MA== 754986 OTM1MzQ1Nzk5

2 0 MTI1 Fri Aug 13 17:33:33 1999 934590813 99 v 2 0 0 jsmith
jsmith 7.00 1 - MQ== 905242 MTY2MDIyOA==

# Shutdown Sentinel RMS Development Kit v7.00 Fri Aug 13 17:33:34
1999 934590814 jsmith 4294489039 Mg== 2058783
```

IAR License Manager に関するリファレンス情報

本章では、IAR Embedded Workbench のライセンスを管理するツールの IAR License Manager の使用方法について説明します。

リファレンス情報

このセクションでは、以下のウィンドウおよびダイアログボックスのリファレンス情報を提供します。

- 47 ページの *IAR License Manager* のメイン ウィンドウ
- 54 ページの *[Servers]* (サーバ) ダイアログボックス

IAR License Manager のメイン ウィンドウ

IAR License Manager は、IAR Embedded Workbench IDE の **[Help]** (ヘルプ) メニューから使用できます。また、IAR License Manager は Windows の **[スタート]** メニューからも利用可能です。

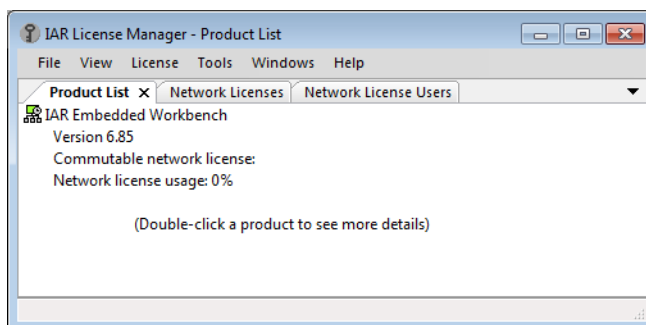


図42: IAR License Manager のメイン ウィンドウ

このウィンドウを使用して、IAR Embedded Workbench のライセンスを管理します。

[File] (ファイル) メニュー

このコマンドに表示されるコマンドは以下のとおりです。

Exit (終了) IAR License Manager を終了します。

[View] (表示) メニュー

このメニューに表示されるコマンドは以下のとおりです。

Refresh (更新) ネットワーク ライセンスの使用情報や dongle のステータスなどを更新します。これは、15 秒おきに自動的に行われます。

Product List (製品リスト) 表示エリアの **[Product List] (製品リスト)** ページを開きます。このページにはインストールされたすべての製品がリストされます。リストで製品をダブルクリックすると、その製品のライセンスに関する詳細な情報が入手できるダイアログボックスが表示されます (52 ページの **[License Details] (ライセンス詳細)** ダイアログボックスを参照)。

Network Licenses (ネットワーク ライセンス) 表示エリアの **[Network Licenses] (ネットワーク ライセンス)** ページを開きます。このページには使用可能なすべてのネットワーク ライセンスがリストされます。

Network License Users (ネットワーク ライセンス ユーザ) 表示エリアの **[Network License Users] (ネットワーク ライセンス ユーザ)** ページを開きます。このページには、ネットワーク ライセンスを使用するローカル ネットワーク上のすべてのユーザがリストされます。

Dongle List (dongle リスト) 取り付けられたすべての dongle が一覧表示されるダイアログボックスを表示します。

License (ライセンス) メニュー

このメニューに表示されるコマンドは以下のとおりです。

Activate License (ライセンスの有効化) License Wizard を起動して、ライセンス番号によってライセンスを有効化します。

Use Network License (ネットワーク ライセンスの使用)	License Wizard を起動して、ライセンス サーバからネットワーク ライセンスの使用を開始します。
Get Evaluation License (評価用ライセンスの取得)	License Wizard を起動して、評価用ライセンスを入手します。
License Details (ライセンス詳細)	[License Details] (ライセンス詳細) ダイアログボックスを表示します (52 ページの <i>[License Details]</i> (ライセンス詳細) ダイアログボックスを参照)。
Servers (サーバ)	[Servers] (サーバ) ダイアログボックスを表示します。これには、自動的に識別されたサーバと手動で追加されたサーバがすべてリストされます。54 ページの <i>[Servers]</i> (サーバ) ダイアログボックスを参照。
Check for License Renewal (ライセンス更新のチェック)	コンピュータ上で有効化されたライセンスに新しいバージョンがあるかどうかをチェックします。このコマンドは実行に数分を要することがある点に注意してください。
License Transfer (ライセンス移動)	[License Transfer] (ライセンス移動) ダイアログボックスを表示します。ここでは、別のコンピュータに移動する PC 固定ライセンスを選択できます。このコマンドは、1 年に限られた回数 (3 回まで) しか実行できない点に注意してください。
Offline Activation (オフラインアクティベーション)	ライセンスサーバがインターネットにアクセスできないときに、ライセンスを有効化するためにウィザードを起動します。 詳細については、34 ページの <i>オフライン時のライセンスの有効化</i> を参照してください。
Offline License Transfer (オフライン ライセンス移動)	ダイアログボックスが表示され、ここではコンピュータがインターネットに接続されていない場合でも、ライセンスを無効化できます。通常は、ライセンスを別のコンピュータに移動する場合にこれを行います。 詳細については、39 ページの <i>オフライン時に別のコンピュータにライセンスを移動する</i> を参照してください。

Tools (ツール) メニュー

このメニューに表示されるコマンドは以下のとおりです。

Options (オプション) **[Options] (オプション)** ダイアログボックスが表示され、以前に無効化されたすべてのダイアログボックスを再び有効化できます。

Extract Optional Packages (オプションのパッケージを抽出) 製品に付属のソースコードライブラリを抽出します。

Windows (ウィンドウ) メニュー

このコマンドに表示されるコマンドは以下のとおりです。

Close (閉じる) IAR License Manager のメイン ウィンドウの表示エリアで現在選択されたページを閉じます。

Help (ヘルプ) メニュー

このメニューに表示されるコマンドは以下のとおりです。

Collect Diagnostic Information (診断情報を収集) **[Collect Diagnostic Information] (診断情報を収集)** ダイアログボックスを表示して、診断情報の収集を開始します。このダイアログボックスに進行状況が表示されます。完了したら、**[Explore Results] (結果を参照)** をクリックして情報を閲覧します。一般的に、この情報は IAR サポートに連絡するときに役立ちます。

Installation and Licensing Quick Reference (インストールおよびライセンスのクイックリファレンス) *Installation and Licensing Quick Reference (インストールおよびライセンスのクイックリファレンス)* のブックレットを PDF として開きます。

Licensing Guide (ライセンスガイド) *Licensing Guide (ライセンスガイド)* を PDF として開きます。

About (～について) IAR License Manager に関する情報を表示します。

Context (コンテキスト) メニュー (product list)

このコンテキスト メニューは **[Product List]** (製品リスト) ページで使用できます:

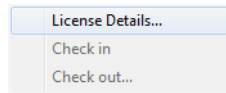


図43: [Product List] (製品リスト) コンテキスト メニュー

以下のコマンドがあります。

License Details (ライセンス詳細)

[License Details] (ライセンス詳細) ダイアログボックスを表示します (52 ページの **[License Details]** (ライセンス詳細) ダイアログボックスを参照)。

Check in (チェックイン)

コンピュータ承認で以前にチェックアウトしたネットワーク ライセンスをチェックインします。

Check out (チェックアウト)

コンピュータ承認によりネットワーク ライセンスをチェックアウトします。つまり、期間限定で PC 固定ライセンスとして使用できます。

コンテキスト メニュー (network licenses)

このコンテキスト メニューは **[Network License]** (ネットワーク ライセンス) ページで使用できます:



図44: ネットワーク ライセンスのコンテキスト メニュー

以下のコマンドがあります。

Delete (削除)

選択したネットワーク ライセンスをサーバから削除します。これはライセンス サーバ コンピュータ上でのみ実行できます。

【License Details】（ライセンス詳細）ダイアログボックス

【License Details】（ライセンス詳細）ダイアログボックスは、IAR License Manager の【Product List】（製品リスト）で選択した製品をダブルクリックすると表示されます。

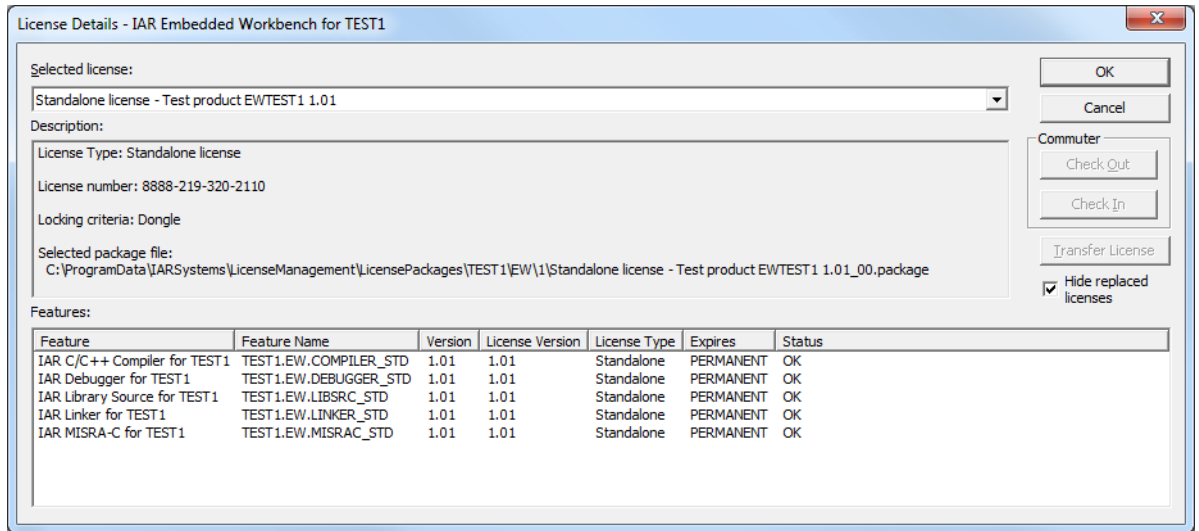


図45: 【License Details】（ライセンス詳細）ダイアログボックス

このダイアログボックスを使用して、使用可能なライセンスを選択し、選択したライセンスの詳細情報を入手します。

Selected license（選択したライセンス）

この製品および使用可能なネットワークライセンスについて有効化したすべてのライセンスをリストします。使用するライセンスを選択します。

Description（説明）

選択したライセンスの詳細な情報をリストします。

Features（機能）

製品でライセンスの取得が可能なすべての機能と、これらの列のライセンスのステータスを表示します：

Feature（機能）	機能名
--------------------	-----

Feature name (機能名)	内部の機能名。
Version (バージョン)	インストールされた製品コンポーネントの機能バージョン。
License Version (ライセンスバージョン)	ライセンスのバージョン。インストールされた機能のバージョンと同じか、それ以上である必要があります。
License Type (ライセンスタイプ)	ライセンスタイプ。
Expires (期限切れ)	以下のいずれかになります： <ul style="list-style-type: none"> ● 期間限定ライセンスの場合は期間終了日 ● 永久ライセンスの場合は Permanent (永久)。
Status (ステータス)	ライセンスのステータス。OK またはエラーメッセージです。

ボタン

以下のボタンを選択できます。

Check Out (チェックアウト)	コンピュータ承認によりネットワークライセンスをチェックアウトします。つまり、期間限定で PC 固定ライセンスとして使用できます。
Check In (チェックアウト)	コンピュータ承認で以前にチェックアウトしたネットワークライセンスをチェックインします。
Transfer License (ライセンス移動)	選択したライセンスを無効化します。つまり、別のコンピュータでそれを有効化できます。このコマンドは、1 年に限られた回数 (3 回まで) しか実行できない点に注意してください。

Hide replaced licenses (置換したライセンスの非表示)

置換したライセンスを非表示にします。ライセンスは、更新時に置換されます。たとえば、スタートアップライセンスを永久ライセンスと置換したり、より新しいバージョンを有効化したときなどです。置換したライセンスはそのまま使用可能である点に注意してください。

[Servers] (サーバ) ダイアログボックス

[Servers] (サーバ) ダイアログボックスを開くには、IAR License Manager で [License] (ライセンス) > [Servers] (サーバ) を選択します。

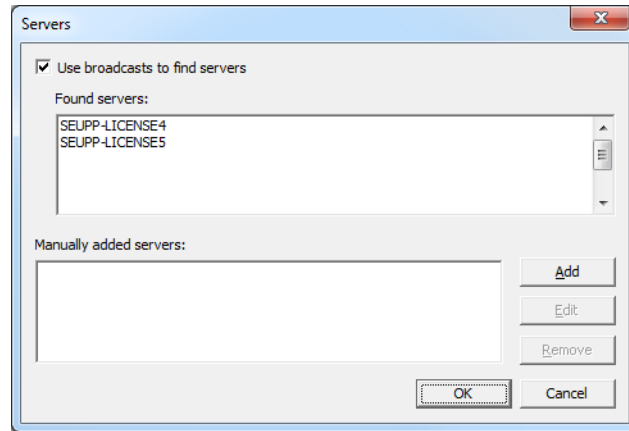


図 46: [Servers] (サーバ) ダイアログボックス

このダイアログボックスを使用して、何らかの理由で IAR ライセンス サーバが自動的に検出しないライセンス サーバを手動で指定します。

手動で追加した既存でないサーバは、IAR License Manager で応答時間が大幅に長くなります。

Use broadcasts to find servers (ブロードキャストを使用してサーバを検索)

ブロードキャストを有効にして、サブネット上でサーバを自動的に検索します。このオプションを無効化すると、使用するサーバを手動で追加する必要があります。自動的に見つかったサーバへのすべての参照は削除されます。

Found servers (検出されたサーバ)

自動的に検出されたライセンス サーバをリストします。

Manually added servers (手動で追加されたサーバ)

手動で追加されたライセンス サーバをリストします。

ボタン

以下のボタンを選択できます。

- | | |
|--------------------|--|
| Add (追加) | ライセンス サーバをリストに追加します。[Add] (追加) をクリックして、追加するライセンス サーバの名前または IP 番号を入力します。 |
| Edit (編集) | すでに追加されたライセンス サーバの名前を編集します。ライセンス サーバを編集するには、ライセンス サーバを選択して [Edit] (編集) をクリックします。 |
| Remove (削除) | すでに追加されたライセンス サーバを削除します。ライセンス サーバを削除するには、ライセンス サーバを選択して [Remove] (削除) をクリックします。 |

ライセンスの概念

この章では、ライセンスに関する用語を列記します。

コンピュータ承認 (Commuter authorization)

サーバからチェックアウトでき、期間限定で PC 固定ライセンスとして使用可能なネットワーク ライセンス。

資格

ライセンスで使用可能な対象。つまり、有効になる機能および使用可能な期間です。

評価用ライセンス (Evaluation license)

期間または機能が限定されている無料のライセンス。期間限定の評価用ライセンスの場合、特定のコンピュータ上で同じ製品のバージョンのみを評価できます。

機能 (Feature)

ライセンスの対象に応じて有効または無効にされる、インストールされたソフトウェアの機能。機能ごとに1つのライセンス キーがあります。

ライセンスの有効化 (License activation)

IAR システムズからライセンス キーを取得する手順。

ライセンス キー (License key)

ライセンスが使用対象を検証できるようにする情報を含む文字列。

ライセンス番号 (License number)

ライセンスの固有な ID。ライセンスの有効化および IAR システムズのサポートに連絡する際に使用します。

ライセンス パッケージ (License package)

ファイルに保存されたライセンス キーとライセンス情報。ライセンス パッケージは、ライセンスを有効化するとコンピュータ上に作成されます。

ライセンス登録 (License registration)

すべてのライセンスを IAR システムズに登録する必要があります。登録時に、ライセンス所有者の連絡先情報（特に電子メール）が記録されます。登録手続きの最後に、メールアドレスが正しいか確認するために、登録されたアドレスに電子メールが送信されます。

ライセンス サーバ (License server)

IAR ライセンス サーバがインストールされている PC。

ライセンス移動 (License transfer)

別のコンピュータでもう一度有効化するためにライセンスを無効化して、IAR システムズに返還すること。

モバイル ライセンス (Mobile licence)

dongle にロックされたシングルユーザ ライセンス。dongle が取り付けられていると、製品がインストールされているどのコンピュータでも使用できます。

ネットワーク ライセンス (Network license)

ライセンス サーバ コンピュータ上にあるマルチユーザライセンス。このライセンスは、ローカル ネットワーク上のどのコンピュータでも使用できます。

オフラインアクティベーション (Offline Activation)

ライセンスの有効化には、IAR License Manager がインターネットを介して IAR システムズに接続する必要があります。これが不可能な場合、オフラインアクティベーションというもうひとつの方法があります。

PC 固定ライセンス (PC-locked license)

コンピュータのハードウェアにロックされたシングルユーザライセンスで、このコンピュータのみで使用できます。

永久ライセンス (Permanent license)

期間に制限のないライセンス。

製品 (Product)

製品とは IAR システムから購入したものを指します。インストールしたソフトウェア、ドキュメント、dongle（任意）だけでなく、ソフトウェアの数多くの機能が使用できるライセンス パッケージです。

スタートアップライセンス (Startup license)

新しく購入した製品を有効化するとすぐに取得できる、
期間限定のライセンス。

A

Activate License (License メニュー)48

C

Check for License Renewal (License メニュー).....49

Check in (Product List コンテキスト メニュー).....51

Check out (Product List コンテキスト メニュー).....51

Collect Diagnostic Information (Help メニュー)50

C++ 用語8

D

Delete (Network Licenses コンテキスト メニュー) ...51

Dongle List (View メニュー)48

E

Extract Optional Packages (Tools メニュー)50

F

File (ファイル) メニュー
(IAR ライセンス マネージャ)48

Found servers ([Servers] ダイアログボックス) ..52, 54

G

Get Evaluation License (License メニュー)49

H

Help メニュー (IAR ライセンス マネージャ).....50

I

IAR Embedded Workbench

クライアント コンピュータ上.....14

クライアント コンピュータ上へのインストール ..28

IAR License Manager のメイン ウィンドウ47

IAR システムズの Web サイト8

IAR 技術サポート.....8

L

License Details (License メニュー)49

License Transfer (License メニュー)49

License メニュー (IAR ライセンス マネージャ).....48

lightbulb アイコン、本ガイドの9

LSERVOPTS (環境変数)

コンピュータライセンスの最大数34

ロギングの有効化45

M

Manually added servers

([Servers] ダイアログボックス).....54

N

Network License Users (View メニュー)48

Network Licenses (View メニュー)48

Network Licenses のコンテキスト メニュー.....51

O

Offline Activation (License メニュー)49

Offline Deactivation (License メニュー)49

P

PC 固定ライセンス (PC-locked license)	12
定義	57
Product List (View メニュー)	48
Product List コンテキスト メニュー	51

S

Servers (License メニュー)	49
------------------------------	----

T

Tools (ツール) メニュー (IAR ライセンス マネージャ)	50
---	----

U

UDP、トラフィックのブロック解除	22
Use broadcast to find servers ([Servers] ダイアログボックス)	54
Use Network License (License メニュー)	49

V

View License Details (Product List コンテキスト メニュー)	51
View (表示) メニュー (IAR ライセンス マネージャ)	48

W

Web サイト、IAR システムズ	8
Windows メニュー (IAR ライセンス マネージャ)	50

あ

アップデート クライアント コンピュータ上の製品	42
ライセンス サーバ	41

い

インストール クライアント コンピュータへの IAR Embedded Workbench	28
ネットワーク ライセンス	17
ライセンス サーバ	18
製品のアップデート	41
インストールするコンポーネント、選択	29
インストール先ディレクトリ	8

お

オフライン有効化、定義	57
-------------------	----

く

クイックレファレンスのブックレット	7
クライアント コンピュータ IAR Embedded Workbench のインストール	28
システム要件	14
製品のアップデート	42

こ

このガイドで使用されている規則	8
コマンドプロンプトアイコン、本ガイド	9
コマンドラインオプション、表記規則	8
コンピュータ承認	14
チェックアウト	34
最大数	34
定義	57
コンピュータスタイル、表記規則	8

し		
システム管理者	7	
システム要件		
クライアント コンピュータ	14	
ネットワーク ライセンス	14	
す		
スタートアップライセンス、定義	58	
そ		
ソフトウェア販売代理店	8	
た		
タイプ、ライセンス	12	
つ		
ツールアイコン、本ガイド	9	
て		
テクニカルノート	8	
と		
ドングル		
ライセンス サーバ パッケージに同梱	13	
ライセンスを有効化する際の確認	26	
ロックされたモバイル ライセンス	12	
ね		
ネットワーク ライセンス		
インストール	17	
システム要件	14	
概要	13	
手動でポイント	40	
製品アップグレードのインストール	41	
他のライセンス サーバ コンピュータへの		
移動	43	
定義	57	
ネットワーク管理者	7	
は		
パラメータ、表記規則	8	
バージョン番号、本ガイド	2	
ふ		
ブロードキャスト	15	
へ		
ベンダ、ソフトウェア	8	
も		
モバイルライセンス	12	
定義	57	
ら		
ライセンス キー、定義	57	
ライセンス サーバ	13	
アップデート	41	
インストール	18	
コンピュータのシステム要件	14	
ネットワーク要件	15	
手動による起動と停止	43	
定義	57	
ライセンス サーバのネットワーク要件	15	
ライセンス パッケージ、定義	57	

ライセンスのタイプ.....	12
ライセンスの移動	
オフライン時.....	39
ネットワーク.....	43
ライセンスの有効化	
オフライン時.....	34
ネットワーク.....	23
ライセンスの有効化、定義.....	57
ライセンス移動	
オフライン時.....	39
ネットワーク.....	43
定義.....	57
ライセンス登録、定義.....	57
ライセンス番号、定義.....	57

り

リリースノート.....	8
--------------	---

記号

[License Details] (ライセンス詳細)	
ダイアログボックス.....	52
[Servers] (サーバ) ダイアログボックス.....	54